

安全データシート

作成: 2000年 4月24日

改訂: 2023年 7月13日

1. 製品及び会社情報

整理番号	: KI087-02
製品名	: カウンター乳剤
会社名	: クミアイ化学工業株式会社
住所	: 東京都台東区池之端 1-4-26
担当部門	: サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課
電話番号	: 03-3822-5180
FAX番号	: 03-3823-6830
緊急連絡先	: 平日 午前9時～午後5時 (電話番号03-3822-5180)
推奨用途及び使用上の制限	: 農薬

2. 危険有害性の要約

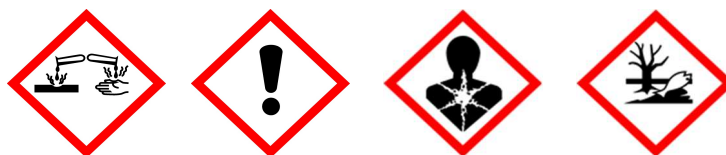
化学品のGHS分類

健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分1
	皮膚感受性	: 区分1B
	生殖毒性	: 区分1B
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分2(腎臓、眼、気道、血液) 区分3(気道刺激性)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分2(肝臓、腎臓、眼、肺、呼吸器、神経系、骨髄、血液、赤血球)
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	: 区分1
	水生環境有害性 長期(慢性)	: 区分1

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

- ・重篤な眼の損傷
- ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・生殖能または胎児への悪影響のおそれ
- ・臓器(腎臓、眼、気道、血液)の障害のおそれ
- ・呼吸器への刺激のおそれ
- ・長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(肝臓、腎臓、眼、肺、呼吸器、神経系、骨髄、血液、赤血球)の障害のおそれ
- ・水生生物に非常に強い毒性
- ・長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・取り扱い後はよく洗うこと。
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
- ・環境への放出を避けること。

【応急処置】

- ・眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
- ・皮膚に付着した場合は、多量の水で洗うこと。
- ・皮膚刺激又は発疹が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- ・特別な処置が必要である。(4.応急措置を参照)
- ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。

- ・吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
- ・漏出物を回収すること。

【保管】

- ・施錠して保管すること。
- ・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

【廃棄】

- ・内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名/一般名:

(RS)-1-[3-クロロ-4-(1, 1, 2-トリフルオロ-2-トリフルオロメトキシエトキシ)フェニル]-3-(2, 6-ジフルオロベンゾイル)ウレア / 一般名: ノバルロン

成分及び含有量: ノバルロン	8.5%
<その他> N-メチル-2-ピロリドン	46 - 51%
石油ナフサ	2 - 4%
ナフタレン	0.2%未満
有機溶剤、界面活性剤等	

化学式: C₁₇H₉ClF₈N₂O₄ / ノバルロン

官報公示整理番号: 化審法 (5)-113	N-メチル-2-ピロリドン
(4)-311	ナフタレン
安衛法 4-(13)-223	ノバルロン
8-(1)-1013	N-メチル-2-ピロリドン

CAS No.: 116714-46-6	/	ノバルロン
872-50-4	/	N-メチル-2-ピロリドン
91-20-3	/	ナフタレン

4. 応急措置

吸入した場合:

被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡する

こと。

皮膚に付着した場合：

多量の水で洗うこと。

皮膚刺激又は発疹を生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合：

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

直ちに眼科医に連絡すること。

飲み込んだ場合：

口をすすぎ、無理に吐かせない。医師の診察/手当てを受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤等

使ってはならない消火剤：棒状水

火災時の特有の危険有害性：燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物、塩化水素等が含まれる。

特有の消火方法：消火のための放水により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な設置を行うこと。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置：適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用すること。

消火時の注意：移動可能な容器は速やかに安全な場所に移すこと。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

漏出時の処理作業には、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用すること。回収が終わるまで十分な換気を行うこと。

環境に対する注意事項：

汚染部は大量の水と中性洗剤を用いて洗浄すること。洗浄の際、河川、湖沼等の水系に流入しないように十分に注意すること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させ、密閉できる空容器に回収すること。

二次災害の防止策：

付近の着火源・発火源を除去すること。

風下の人を避難させ、漏出場所への人の出入りを禁止すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策:

取扱う場合は、屋外又は局所排気、又は全体換気の設備のある場所で取り扱う。

作業場の換気を十分行う。

機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

火花を発生する機械器具等は使用しないこと。

火気厳禁。

取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。

安全取扱い注意事項:

みだりにエアロゾルが発生しないように取り扱う。

容器の破損や容器からの漏洩を防ぎ、液体や気体の流出に注意すること。

接触回避:

情報なし

衛生対策:

吸い込んだり、眼や皮膚に触れないよう、長袖の作業衣、保護手袋、保護マスク、保護眼鏡を着用して、できるだけ風上から作業すること。

取扱い後は、手、顔、眼等を良く洗い、うがいをする。

休憩場所には、手袋等の汚染された保護具を持ち込んではいならない。

保管

安全な保管条件:

換気の良い乾燥した冷暗所に密閉して保管すること。気体が滞留する恐れのある場所では、火花を発生する機械器具等は使用しないこと。また、静電気が発生あるいは帯電しないように注意すること。

飲食品や飼料と区別して保管すること。

安全な容器包装材料:

製品容器包装材料に準ずること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度: ナフタレン 10 ppm

許容濃度: N-メチル-2-ピロリドン

日本産業衛生学会勧告値 (2002年度) 1 ppm

日本産業衛生学会勧告値 (2002年度) 4 mg/m³

設備対策:

室内作業の場合は、換気を適正に行うこと。

取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置すること。

保護具

呼吸用保護具:防護マスク

手の保護具:ゴム手袋

眼、顔面の保護具:ゴーグル型保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具:不浸透性作業衣、保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

外観等	:黄色澄明可乳化油状液体
臭い	:情報なし
pH	: 5.3 (20 g/80 mL 水溶液)
融点/凝固点	:情報なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	:情報なし
引火点	: 104.8 °C (クリーブランド開放式)
自然発火点	:情報なし
分解温度	:情報なし
可燃性	:情報なし
爆発下限及び爆発限界上限界/可燃範囲	:情報なし
相対ガス密度	:情報なし
蒸気圧	:情報なし
密度及び/又は相対密度	: 1.07 g/cm ³ (25 °C)
溶解度	:情報なし
n-オクタノール/水分配係数(log 値)	:情報なし
動粘性率	:情報なし
粒子性状	:情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	:通常の取扱いにおいて反応性なし。
化学的安定性	:通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	:情報なし
避けるべき条件	:情報なし
混触危険物質	:情報なし
危険有害な分解生成物	:燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物、塩化水素等が含まれる。

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	:LD ₅₀ ラット (♀) > 2,500 mg/kg
----------	---

	(区分に該当しない)
急性毒性(経皮)	:LD ₅₀ ラット > 4,000 mg/kg
	(区分に該当しない)
急性毒性(吸入)	:情報不足(分類できない)
皮膚腐食性/刺激性	:刺激性あり(ウサギ)(GHS 分類基準以下であり 区分に該当しない)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	:刺激性あり(ウサギを用いた動物実験において、 21 日間で完全には回復しない作用が認められた。 750 倍希釈液は刺激性なし)
	(区分1)
呼吸器感作性	:情報なし(分類できない)
皮膚感作性	:モルモットを用いた動物実験で陽性が認められた (区分1B)
生殖細胞変異原性	:情報不足(分類できない)
発がん性	:情報不足(分類できない)
生殖毒性	:<製品>データなし 区分1Bに分類される成分N-メチル-2-ピロリドンを ≥0.3%含有することから区分1Bとした。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	:<製品>データなし 区分2(腎臓、眼、気道、血液)に分類される成分 有 機溶剤、界面活性剤等を≥10%含有することから、 製品として区分2(腎臓、眼、気道、血液)とした。 区分3(気道刺激性)に分類される成分 N-メチル -2-ピロリドンを≥20%含有することから、製品とし て区分3(気道刺激性)とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	:<製品>データなし ノバルロンが区分1(赤血球、肝臓)に分類され、≥ 1.0%- <10%含有し、区分2(肝臓、腎臓、眼、肺、呼 吸器、神経系、骨髄、血液)に該当する成分有機溶 剤、界面活性剤等を≥10%含有することから、それ ぞれの区分、限度濃度を考慮し、製品として区分2 (肝臓、腎臓、眼、肺、呼吸器、神経系、骨髄、血液、 赤血球)とした。
誤えん有害性	:情報不足(分類できない)

12. 環境影響情報

生態毒性

製品として

魚類	: コイ LC ₅₀ 4.01 mg/L (96 hr)
甲殻類	: オオミジンコ EC ₅₀ 0.0034 mg/L (48 hr)
藻類	: 緑藻 ErC ₅₀ 5.59 mg/L (0-72 hr)
	NOECr 1.3 mg/L

成分: ノバルロン

魚類	: コイ LC ₅₀ > 0.744 mg/L (96 hr)
甲殻類	: オオミジンコ EC ₅₀ 0.00028 mg/L (48 hr)
藻類	: 緑藻 ErC ₅₀ > 9.68 mg/L (0-72 hr)
	NOECr 9.68 mg/L

甲殻類(オオミジンコ)の EC₅₀の結果から、水生環境有害性 短期(急性)を区分1とし、甲殻類(オオミジンコ)の EC₅₀の結果と製品として急速分解性が不明であることから水生環境有害性 長期(慢性)を区分1とした。

残留性・分解性	: 情報なし
生体蓄積性	: 情報なし
土壌中の移動性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: 情報なし(分類できない)
その他	: 蚕に対して長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し付近の桑に付着するおそれのある地域では使用しないでください。 水産動植物に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。

13. 廃棄上の注意

使用量に合わせて薬液を調製し、使い切る。容器の洗浄水等は河川に流さない。
都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

移送取扱いは丁寧に行う。
輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

国連分類	: クラス9(有害性物質)容器等級Ⅲ
国連番号	: 3082(環境有害物質、液体)
国内規制	
海上規制情報	: 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	: 航空法の規定に従う。
陸上規制情報	: 消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法に該当する場合はそれぞれの該当法律に従う。
緊急時応急措置指針	: 171(低、中程度の危険性物質)

15. 適用法令

農薬取締法	: 登録番号 第21303号 (株)エス・ディー・エス バイオテック)
消防法	: 引火性液体 危険物第四類・第三石油類非水溶液
労働安全衛生法	: 施行令第18条、第18条の2(表示・通知対象物質): N-メチル-2-ピロリドン 施行令第18条の2(通知対象物質): ナフタレン 特定化学物質(特化則)令別表3第2号 第二類物質 ナフタレン 0.2%未満含有(ただし、規制対象は含有濃度が1%を超えるものに限る)
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	: 第一種指定化学物質 746 N-メチル-2-ピロリドン 第一種指定化学物質 653 ジメチル(1-フェニルエチル)ベンゼン(13-18%) 第二種指定化学物質 479 ノバルロン
毒物劇物取締法	: 非該当
船舶安全法	: 環境有害物質(液体) 有害性物質 等級9
航空法	: その他の有害物 分類番号9

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意してください。
使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

- 引用文献: 1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法
2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針

2019年6月 社団法人 日本化学工業協会

3) 農薬中毒の症状と治療法 第19版 2022年4月 農薬工業会

4) GHS文書 改訂第6版(2015年)

5) 株式会社エス・ディー・エス バイオテック カウンター乳剤 安全データシート
(2023年6月16日改訂版)

作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大 阪 (年中無休、24時間) 一般市民向け相談電話(無料) 072-727-2499

医療機関専用有料電話 072-726-9923

つくば(毎日9時~21時) 一般市民向け相談電話(無料) 029-852-9999

医療機関専用有料電話 029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1件 2,000円)は弊社が負担いたします。